

いのちとくらしをつなぐJR日高線の復旧を！

被災していない日高門別駅まで

『即時運行再開を』 要求する署名

JR北海道社長 島田 修 様



JR日高線が高波被害により運行休止してから2年半（2017年7月現在）。しかし、JR北海道は復旧工事を進めていません。国交省は16年11月、台風により大きな被害を受けたJR北海道に対して線路や運行設備の被害に対する復旧費用として8億6000万円を補助することを決めております。JR北海道は一日も早く鉄道軌道整備法に基づく日高線の災害復旧工事に取り掛かるべきです。

沿線住民の多くから、「日高門別駅までは被災していないのになぜ、列車を止めているのか」「門別まで、すぐに列車を走らせてほしい」との声があがっています。通学する高校生、そして進学間近の生徒を抱える家庭から、定期的に苫小牧などに通院するお年寄りからも「一日も早い運行再開を」の声が切実です。復旧工事を行わなくても運行できる鶴川駅～日高門別駅間を休止している理由はありません。直ちに運行再開をすべきです。

1. 被災していないJR日高線＝鶴川・日高門別駅間の運行を即時再開すること。

お名前	住所

JR日高線を守る会・JR問題を考える苫小牧の会

連絡先・090 5981 7418